

2019年7月23日

株式会社オリジン

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め取締役会全体の機能を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する評価（自己評価）を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 取締役会の実効性に関する評価結果の分析・評価方法について

取締役会の実効性を評価するために、監査等委員会が取締役及び監査等委員に質問票（無記名式）の回収・集計を行い、6月24日開催の取締役会にてその結果報告を行ないました。

【実施時期】 2019年4月

【回答者】 取締役及び監査等委員全員（計11名、うち社外取締役3名）

【内容】

方式：無記名式による質問票方式

設問項目：取締役会の構成、取締役会の運営、取締役会の議題、取締役会を支える体制

回答・集計：監査等委員会にてアンケート結果の回収・集計を実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会の規模・構成（業務執行取締役7名、監査等委員4名）については、適切な人数で、専門知識を有する経験豊かな社外取締役を含めて一定の多様性が確保された構成のもと、自由な雰囲気の中、十分な時間をかけて議論が行なわれ、意思決定の透明性・客観性は確保されていることから、取締役会として適正に運営されており、実効性は確保されているものと評価いたしました。

また、代表取締役を含めた取締役の監督については、独立社外取締役を中心に任意の「指名・報酬委員会」を設置して体制を強化しており、実効性向上が図られています。

一方、課題としては、取締役の多様性の確保、事業に影響を与えるリスクに関する議論・判断ができる仕組みの充実が認識されました。

3. 今後の対応について

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ、取締役会全体の実効性向上を更に高めていくための継続的な取り組みを行なってまいります。

以上